

JPCOARスキーマ の概要

オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR)

メタデータ普及タスクフォース

JPCOARスキーマとは。

なにもの？

JPCOARスキーマとは

- 国際的な動向・技術の進展にあわせて、現在の機関リポジトリのメタデータスキーマである junii2 を改訂した、新たなメタデータスキーマ
- JPCOAR（2016年度は機関リポジトリ推進委員会）と国立情報学研究所のメンバーから構成されるタスクフォースにより、2016年度から検討を開始して策定したもの
 - 2016年度：メタデータ検討タスクフォース
 - 2017年度：メタデータ普及タスクフォース

2016年度タスクフォースメンバー



主査：高橋 菜奈子（千葉大学）

協力員：佐々木 翼（北海道大学），前田 朗（東京大学），
南山 泰之（国立極地研究所），香川 朋子（お茶の水女子大
学），大園 隼彦（岡山大学），林 豊（九州大学），

国立情報学研究所：片岡 真,田口 忠祐,大向 一輝,山地 一禎

2017年度タスクフォースメンバー

高橋 菜奈子	千葉大学	委員（主査）
山地 一禎	国立情報学研究所	委員
石田 唯	東京大学	作業部会員
大向 一輝	国立情報学研究所	作業部会員
片岡 朋子	お茶の水女子大学	作業部会員
片岡 真	国立情報学研究所	作業部会員
田口 忠祐	国立情報学研究所	作業部会員
林 豊	九州大学	作業部会員
松村 友花	神戸大学	作業部会員
前田 朗	東京大学	オブザーバ

かわったこと。

junii2 → JPCOARスキーマ

junii2改訂の基本方針

1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充
2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正
3. 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義

1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充

- 学術情報流通を取り巻く環境の変化や社会的な要請への対応



- オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充
 - オープンアクセス方針
 - 5 アクセス権
 - 6 APC
 - 著者ID (3.1 作成者識別子など)
 - 22 助成情報
 - 研究データ対応
 - 21 位置情報 (geoLocation)
 - contributorType属性 (4 寄与者)

1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充

- 「5 アクセス権」
 - 定義：dcterms:accessRights
 - 記入レベル：該当する場合は必須
 - 属性：rdf:resource
- コンテンツのアクセス状態を記入する。
- 以下の統制語彙から選択して記入する。
 - embargoed access
 - metadata only access
 - open access
 - restricted access
- rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Access RightのURIを記入する。

1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充

- 「21 位置情報」
 - 定義：datacite:geolocation
 - 記入レベル：任意
 - 属性：なし
- コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。
- ボックス状の空間的範囲を記述する例
 - <datacite:geoLocation>
 - <datacite:geoLocationBox>
 - <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude>
 - <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude>
 - <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude>
 - <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude>
 - </datacite:geoLocationBox>
 - </datacite:geoLocation>

2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正

- フラットなメタデータ構造の限界
- 例えば…
 - 複数人分の著者名・別名・ヨミ・所属機関の関連性が正確に記述できない



- 識別子の拡充・メタデータ構造の修正

2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正

- <creator lang="ja">国情, 太郎</creator>
- <creator lang="ja">情報, 次郎</creator>
- creator.alternative: コクジョウ, タロウ
- creator.alternative: ジョウホウ, ジロウ
- address: 東京大学
- address: 国立情報学研究所

junii2

氏名

氏名 (ヨミ)
(独自項目、junii2
に出力されない)

所属
(独自項目、junii2
に出力されない)

creatorとaddressの対応関係がわからない
(たぶん順番通りのセットなのだろうけど)

2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正

JPCOARスキーマ

- <jpcoar:creator>
 - <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0000-0000" 0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>
 - <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">国情, 太郎</jpcoar:creatorName>
 - <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Kokujo, Taro</jpcoar:creatorName>
 - <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">コクジョウ, タロウ</jpcoar:creatorName>
 - <jpcoar:affiliation>
 - <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier>
 - <jpcoar:affiliationName xml:lang="ja">東京大学</jpcoar:affiliationName>
 - <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of

氏名

氏名 (ヨミ)

作成者ごとに情報がまとまる

所属

3. 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義

- 日本独自のメタデータ定義
- → 国際的な学術情報流通の進展とのギャップ



- 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義
 - dc
 - dcterms
 - rioxterms
 - datacite
 - openaire
 - dcndl

3. 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義

定義	使用項目例
dc	title, rights, publisher, language, type
dcterms	alternative, accessRights, temporal
rioxterms	apc
datacite	description, date, version, identifier, geolocation, fundingReference
openaire	versionType
dcndl	dissertationNumber, degreeName, dateGranted
jpcoar	creator, contributor, subject, ...

junii2改訂の基本方針 まとめ

基本方針	改訂の背景
オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充	学術情報流通を取り巻く環境の変化や社会的な要請への対応
識別子の拡充・メタデータ構造の修正	フラットなメタデータ構造の限界 (複数人分の著者名・別名・ヨミ・所属機関の関連性が正確に記述できない)
国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義	日本独自のメタデータ定義 (国際的な学術情報流通の進展とのギャップ)

junii2 / JPCOARスキーマ 要素・属性まとめ

	junii2	JPCOARスキーマ
構造	1階層	3階層
要素数	64要素	79要素 (68種類)
移行・内容改訂	21要素	21要素
統合・廃止	43要素	7要素
新規追加・拡張	—	51要素
属性の種類	4種類	15種類
言語属性 (使用可能な要素数)	6要素	26要素
言語属性以外 (使用可能な要素数)	14要素	29要素
識別子の種類	12種類	28種類
統制語彙 (使用する要素・属性数)	5要素	22要素・属性

JPCOARスキーマを もっと知りたい。

JPCOARスキーマについての資料たち

主な資料

- JPCOARスキーマ項目一覧
 - JPCOARスキーマ準拠メタデータサンプル集
 - JPCOARスキーマガイドライン
 - JPCOARスキーマXML定義
-
- 参考資料1 「JPCOAR スキーマ（案）」に関する意見募集について（結果まとめ）
 - 参考資料2 JPCOARスキーマへの移行と対応について
 - 参考資料3 JPCOARスキーマFAQ

JPCOARスキーマXML定義

- JPCOARスキーマのスキーマ定義のファイル
 - JPCOARスキーマはXML形式のスキーマ定義のため、XSDと呼ばれるXMLスキーマ定義を公開します。
 - datacite.xsd
 - dc.xsd
 - dcndl.xsd
 - dcterms.xsd
 - jpcoar_scm.xsd
 - openaire.xsd
 - rdf.xsd
 - rioxxterms.xsd

参考資料 1

「JPCOAR スキーマ（案）」に関する意見募集について（結果まとめ）

- 「JPCOAR スキーマ（案）」に関する意見募集の結果をまとめたもの
 - 意見募集期間
 - 2017年3月6日（月）～2017年3月24日（金）
 - 意見提出者
 - JPCOAR参加機関、IRDBデータ提供機関、機関リポジトリのメタデータ利用機関、その他メタデータに関心のある組織（民間含む）または個人
 - 回答数
 - 55件（重複等を除いた有効回答は37件）
 - いただいたご意見について検討し、ガイドラインの修正やよくある質問（FAQ）の作成、データ移行の詳細資料の作成に活用させていただきました。

参考資料 3

JPCOARスキーマFAQ

- 「JPCOAR スキーマ（案）」に関する意見募集などで寄せられた意見を参考に、よくあると想定される質問をQ&A形式でまとめたもの。
- 今後もフィードバックやIRDBへの適用状況等を受けて、順次内容を更新していく予定です。

資料について補足

- これらの資料は説明会終了後に、JPCOARのウェブサイトで公開する予定です。
- JPCOARスキーマガイドライン、JPCOARスキーマXML定義は、後日ウェブサイトで公開します。

ご質問等がございましたら
お気軽にお問い合わせください。

連絡先：irtf_metadata@nii.ac.jp